



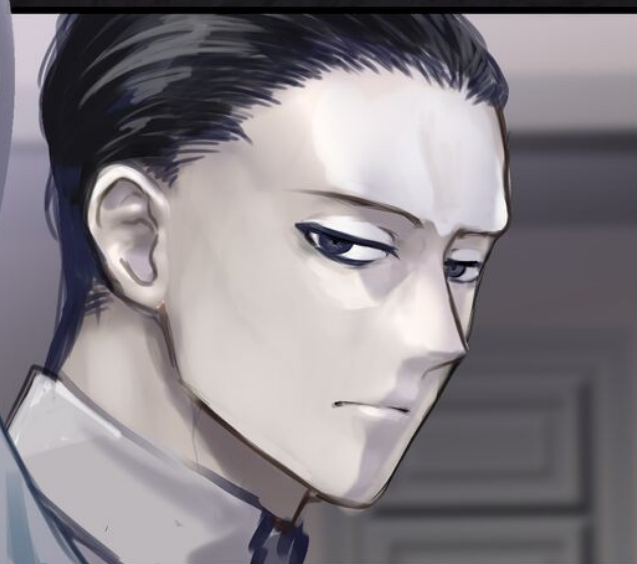
少女×触手×純愛

カラー
69P

Connect

～少女は触手と愛をつむぐ～

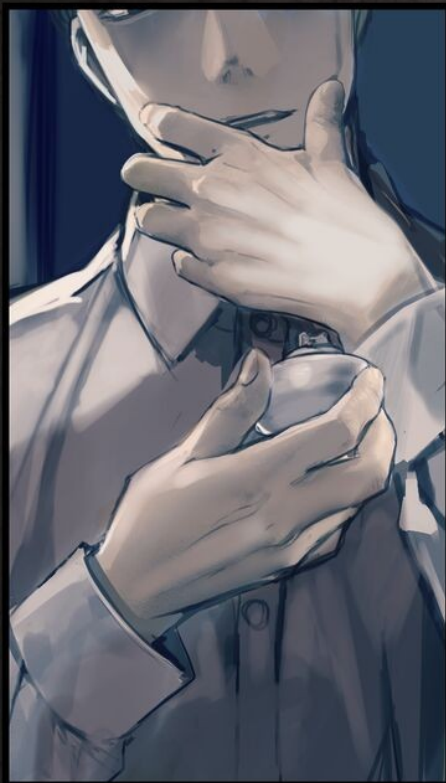
後編



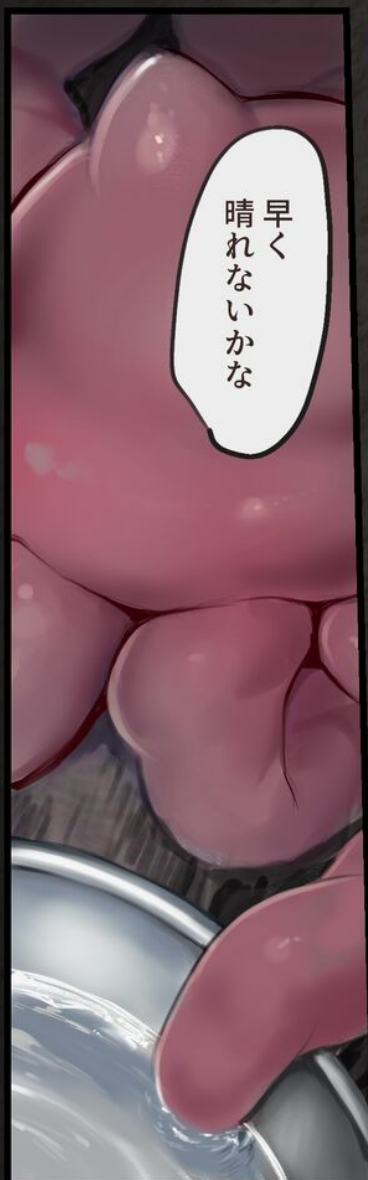












早く
晴れないかな



今日も
お外には
行けないね



一緒に暮らす
ようになってから
しばらく経ったけど

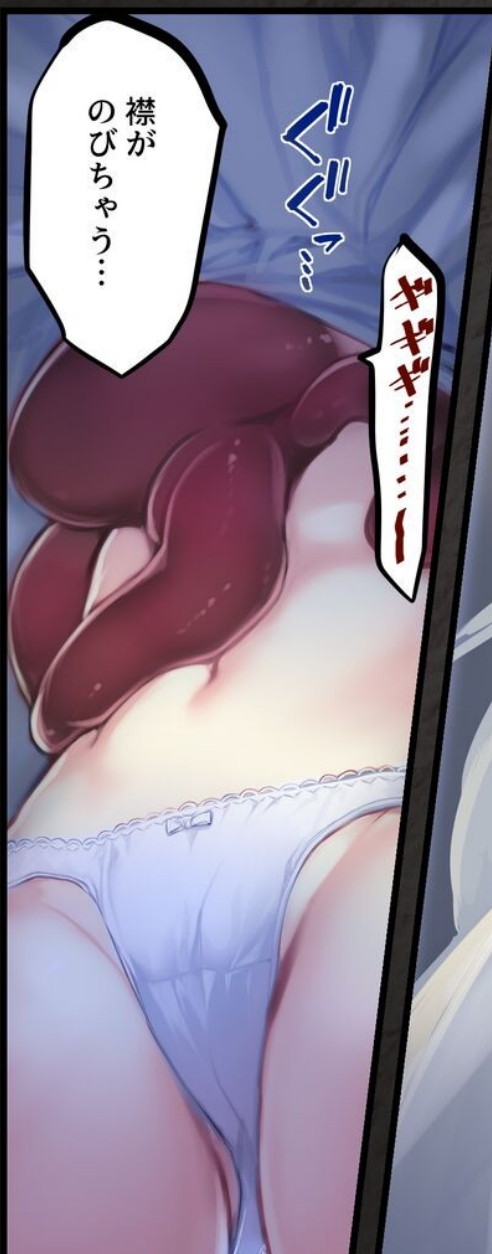
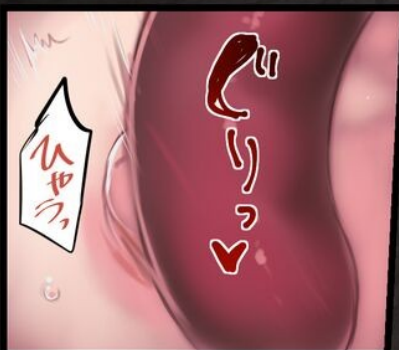
お父様の書斎で
この子と出会って



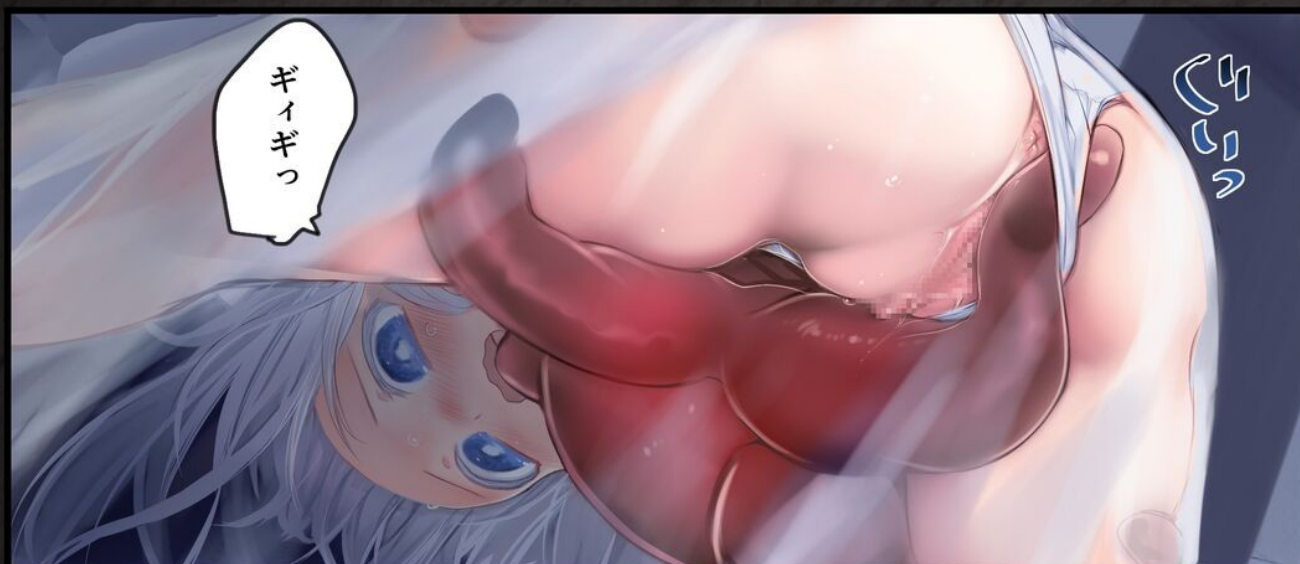
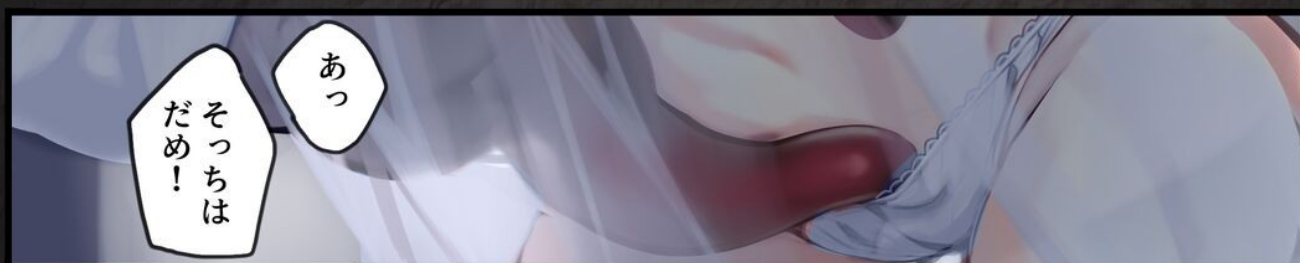
キィ〜

















ギィギの事は

やつぱり
まだ解らない
ことばかり



教えて
くれるかな

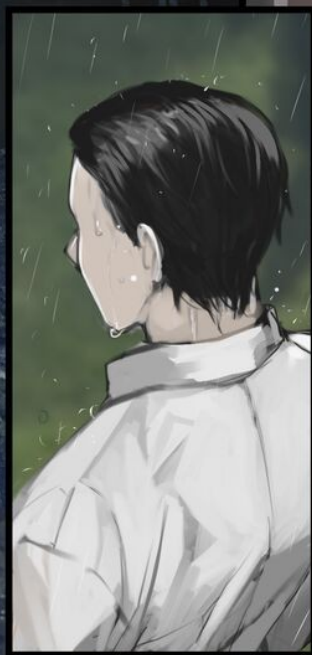
あなたのこと



でも

お父様なら
解るかな





お父様が
外にいる…

見て



最近ずっと
書斎にいた
のに……

また何処かに
行くのかな

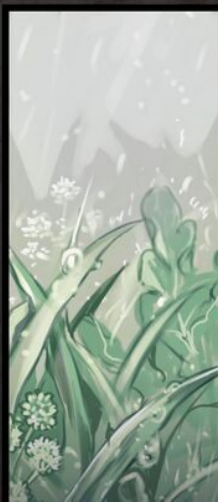
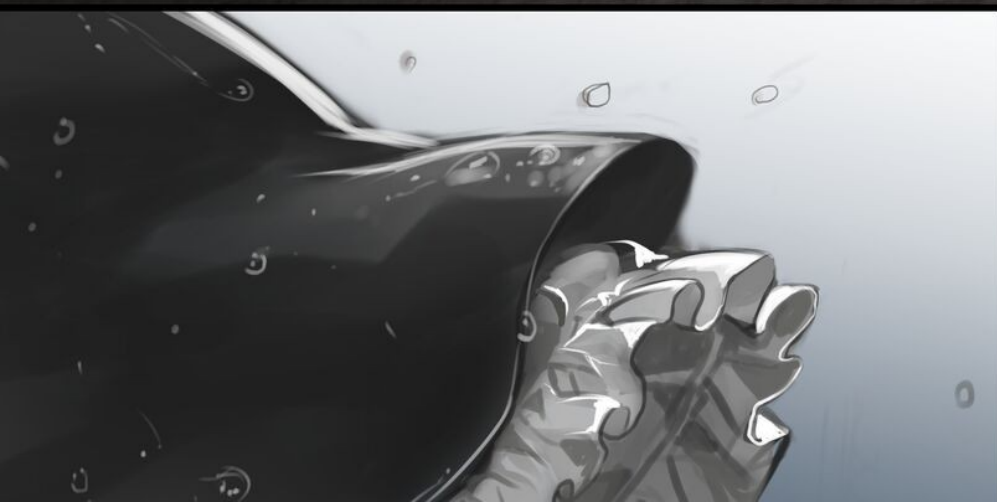


ギィギ

わたし
行ってくる

お父様に
ちゃんと
伝えなきゃ!











ありがとう
ギィギ

こんなことで
泣いてちゃ
ダメだよ

お父様とお話し
するんだから



もう大丈夫！

ギィギの
おかげだよ

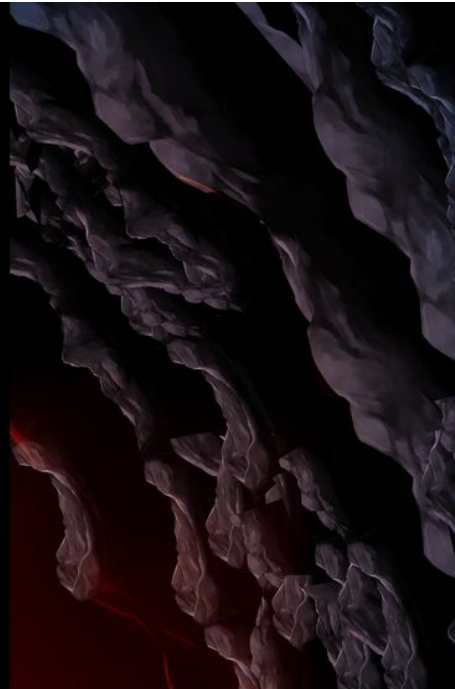
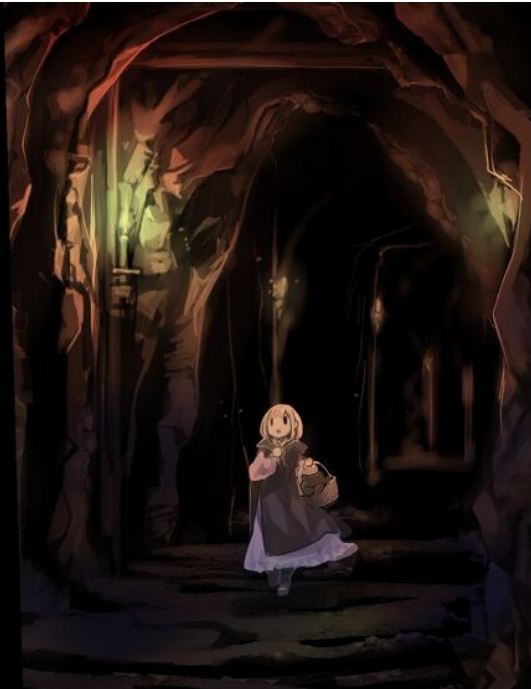


多分
あっちかな





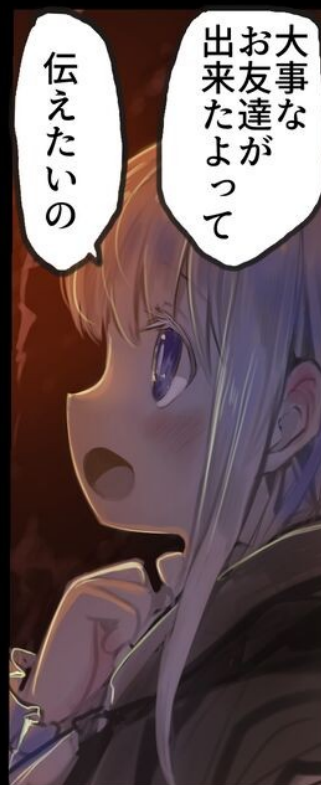
わたしね



いっぱい
お話ししたい
それから…



初めて
会った時の
こととか

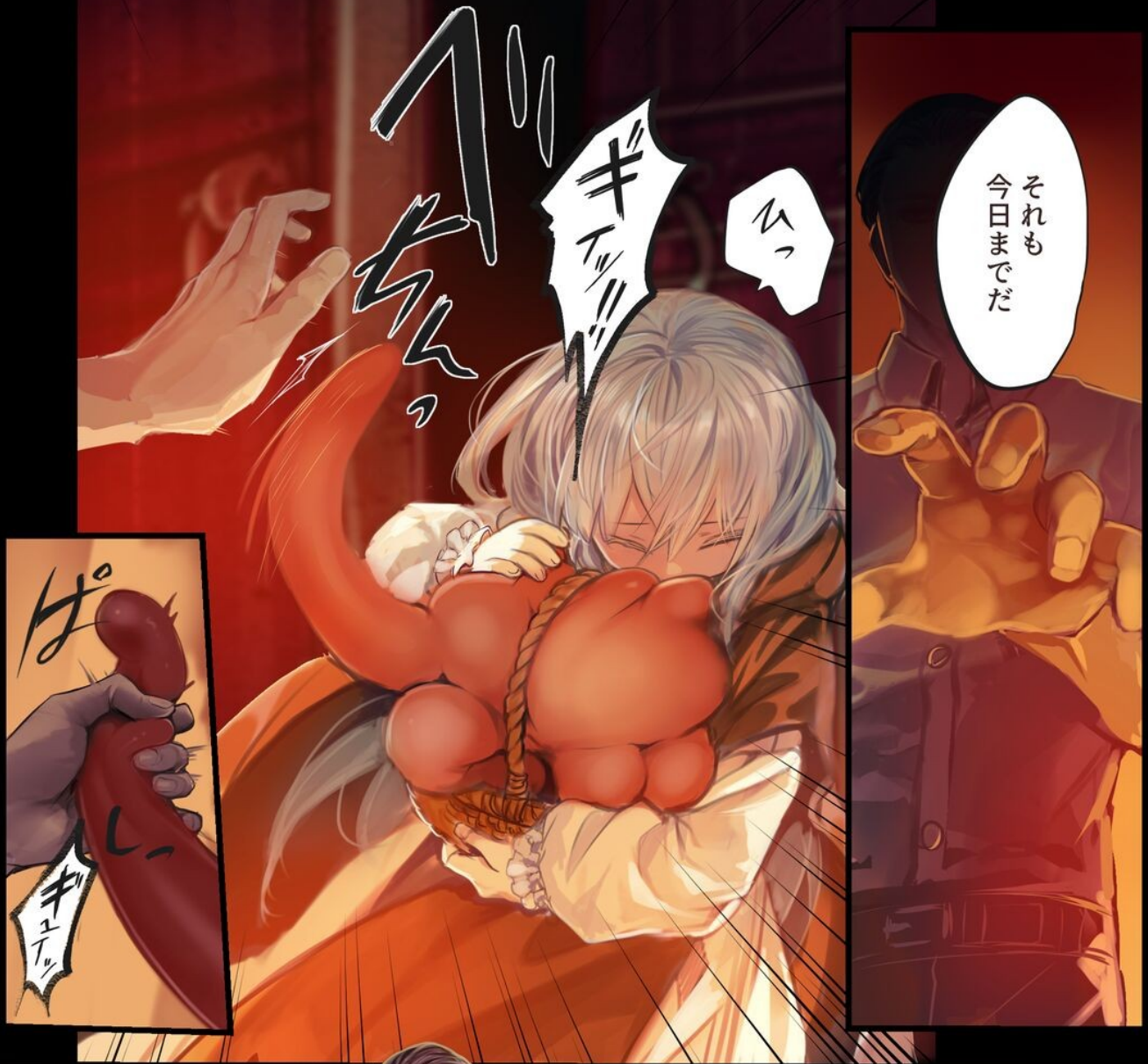


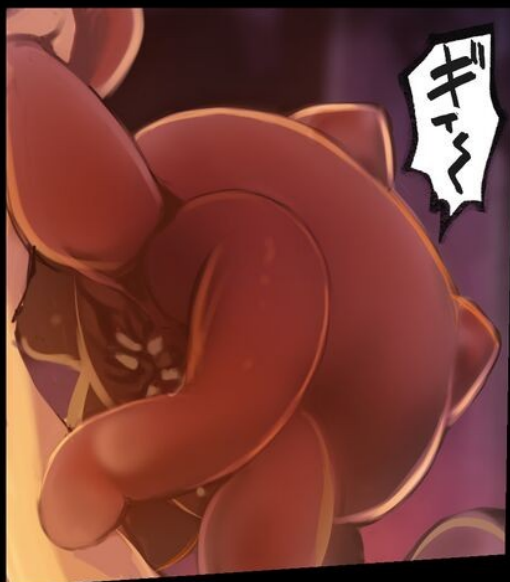


おまっ









ギギ



ハッ

ギイギ!



…お父様……
どうして……

暫くはじっと
していなさい



ギイギを
放して!

お願い
お父様!

辛い思いを
させたくは
なかった…

だが
儀式には
必要なんだ

お願い!
大事な友達
なの!

友達……?

ギ

ギ

ギ

ギ
ギ
ギ



全然
わからないよ!

なんの
お話しなの?



これに
そんな感情は
備わっていない

ギッ

うー

まだ未熟だが
かの者の眷属だ
……犬や猫とは違う

や

うー



それは
食事だよ

ギィギは
わたしの



ギィギは
ずっと傍に
いてくれたもん!

泣いてるとき
涙を拭いて
くれた!

いっぱい
抱きしめて
くれた!



ルシエット

今まで
寂しい思いを
させてしまった



これからは
私とエリスが
お前の傍にいる

三人で：
元通りに
なれるんだ



お父様！

まって！



だめ

.....
!!



ギィギ!!



血は
捧げられた



旧き
契約に従い

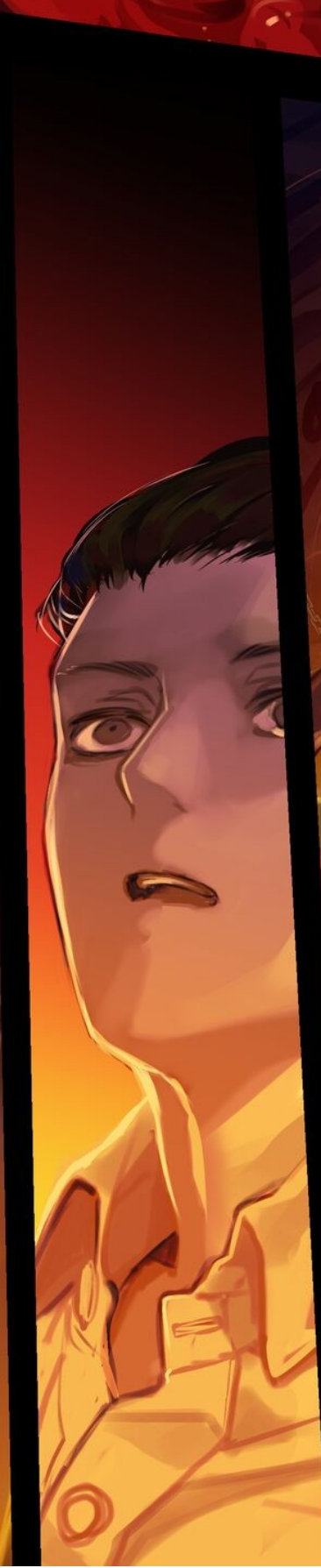
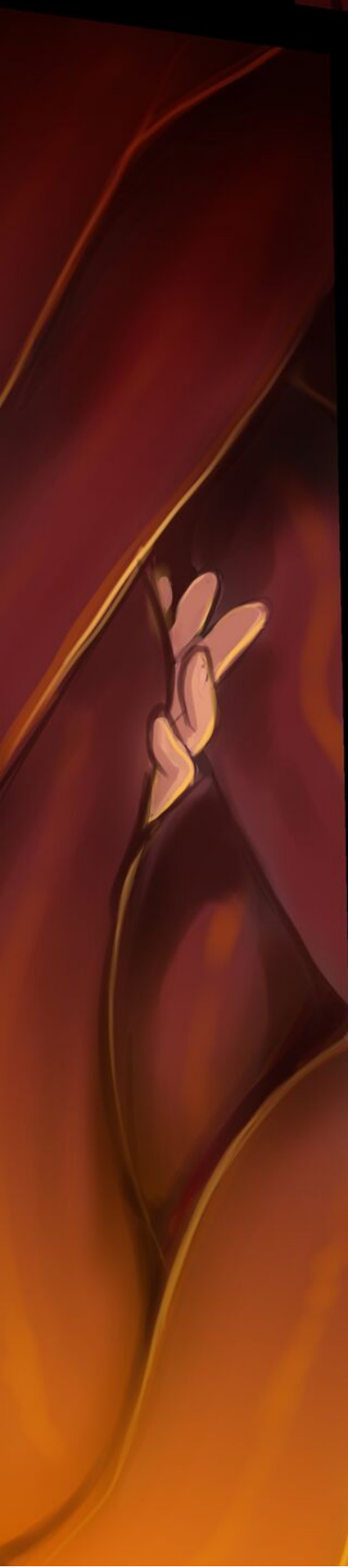
目覚めよ

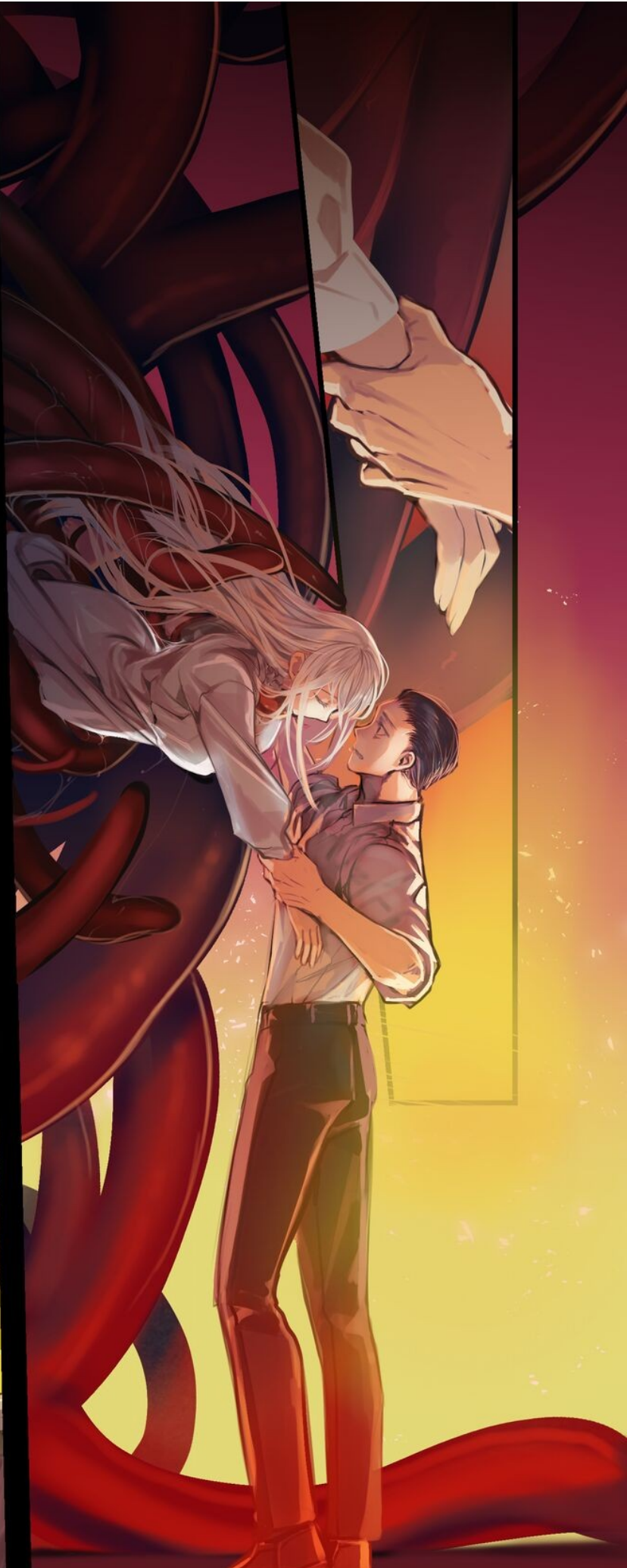
道を
開く者よ

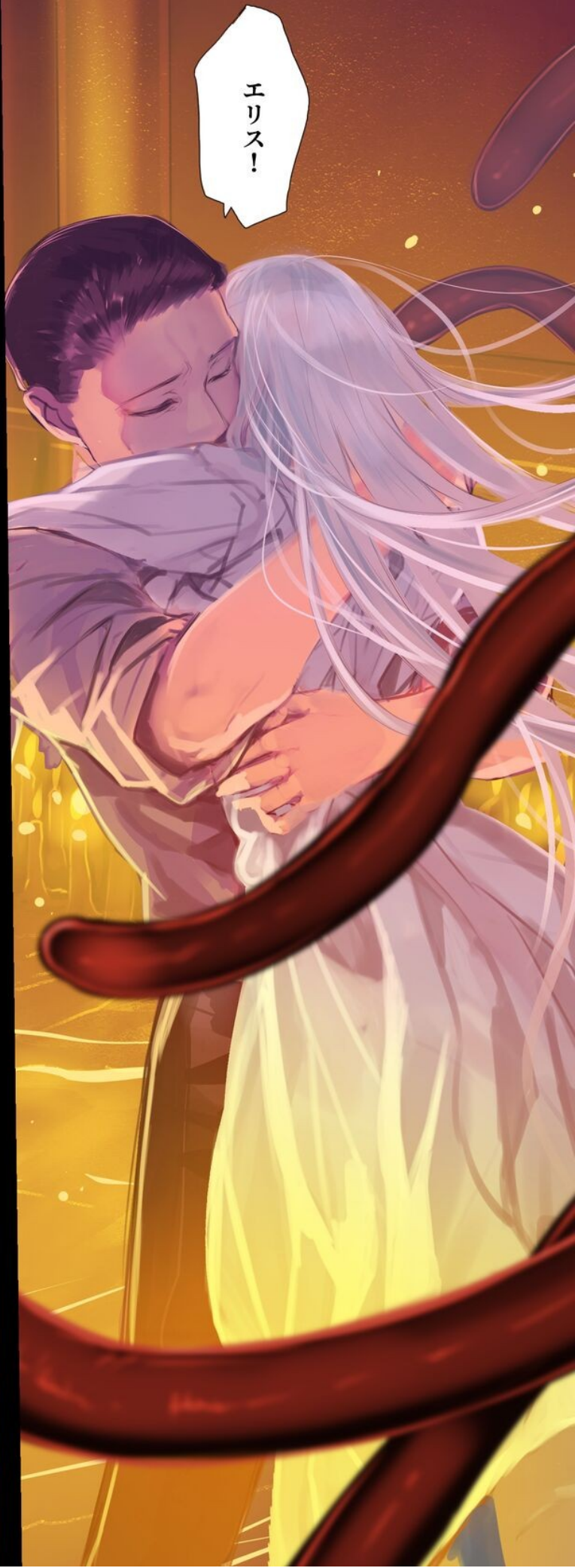
眠りの庭の
静寂を碎き

彼岸から
此岸へと

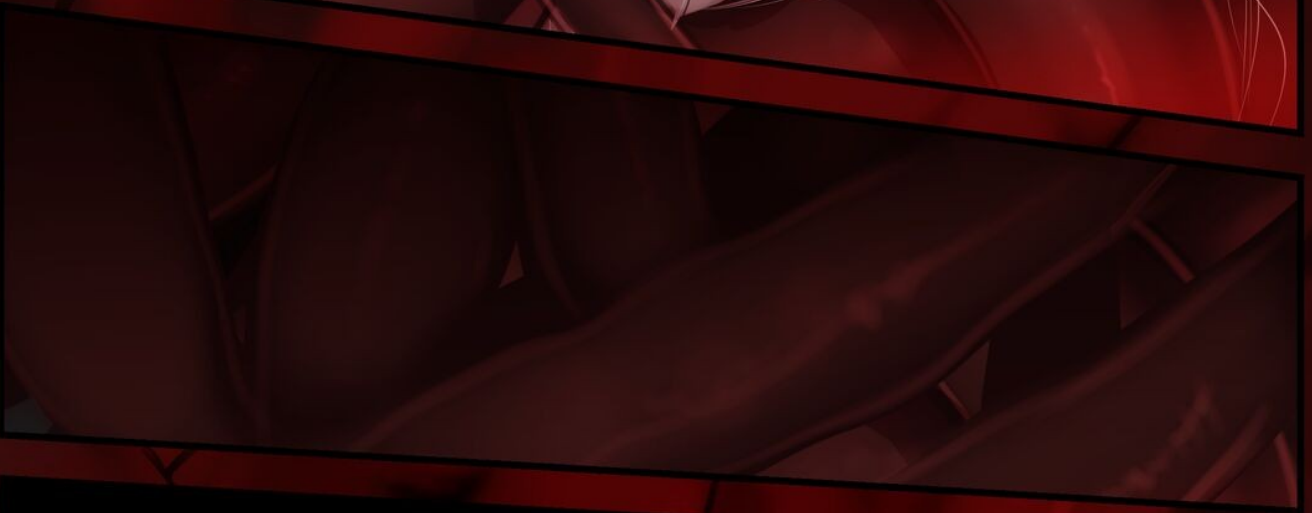
彷徨える魂を
導け！











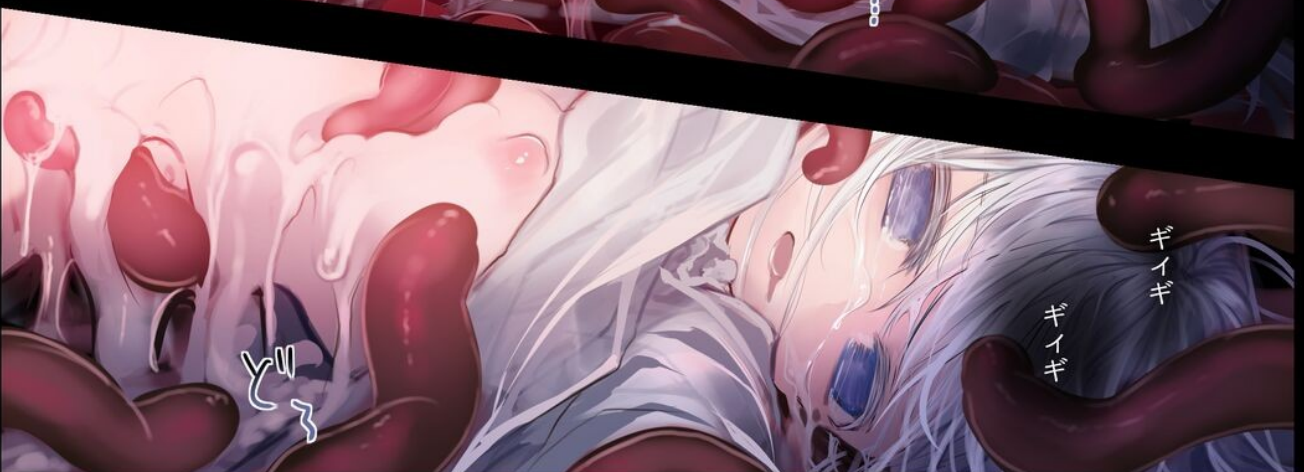
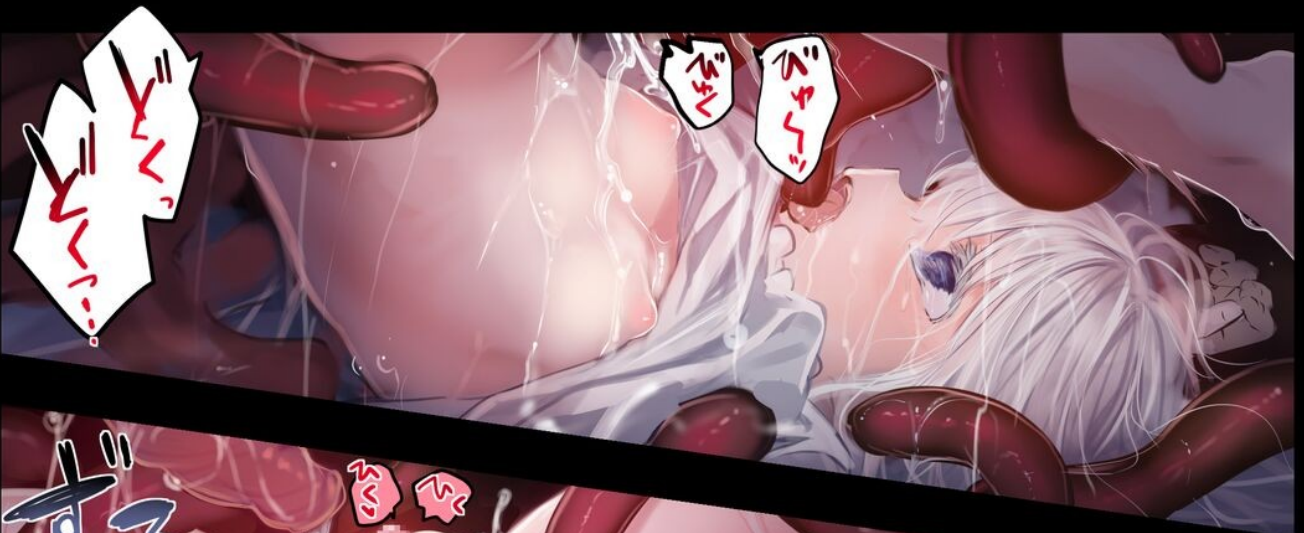
あれ？

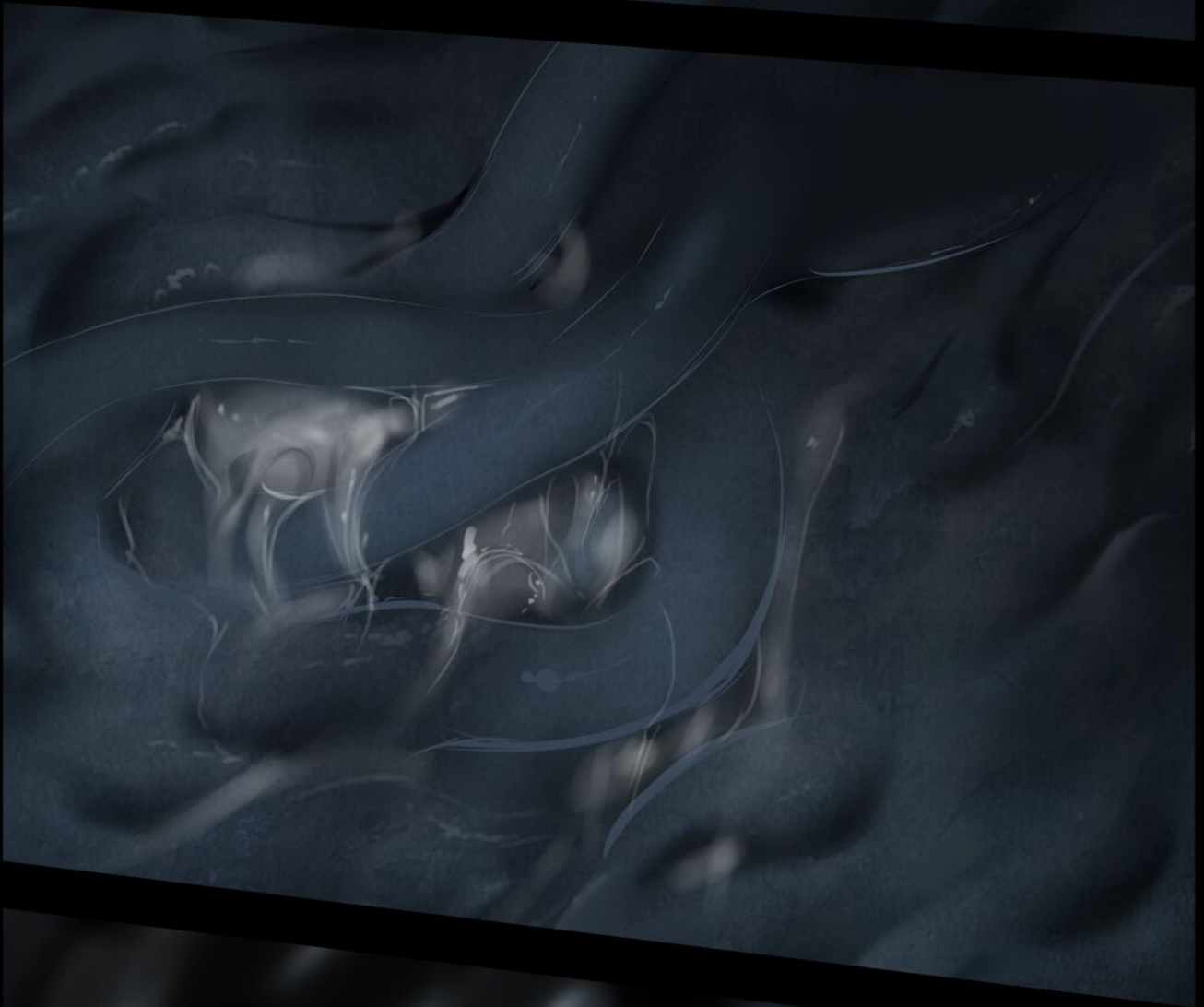
あー

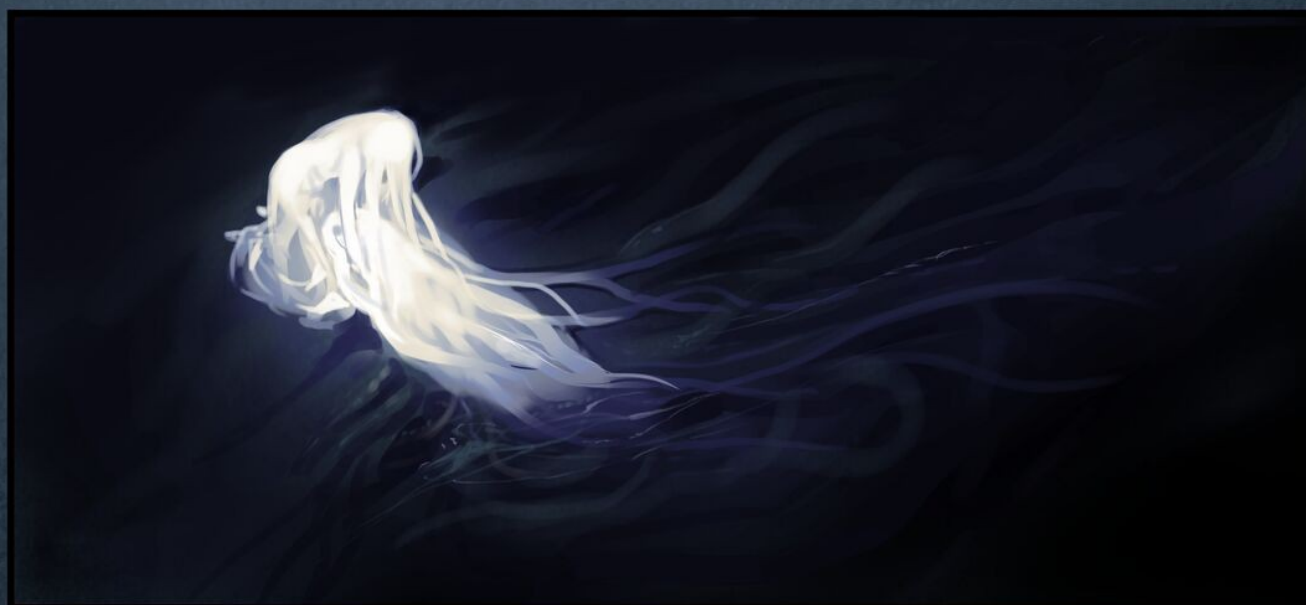
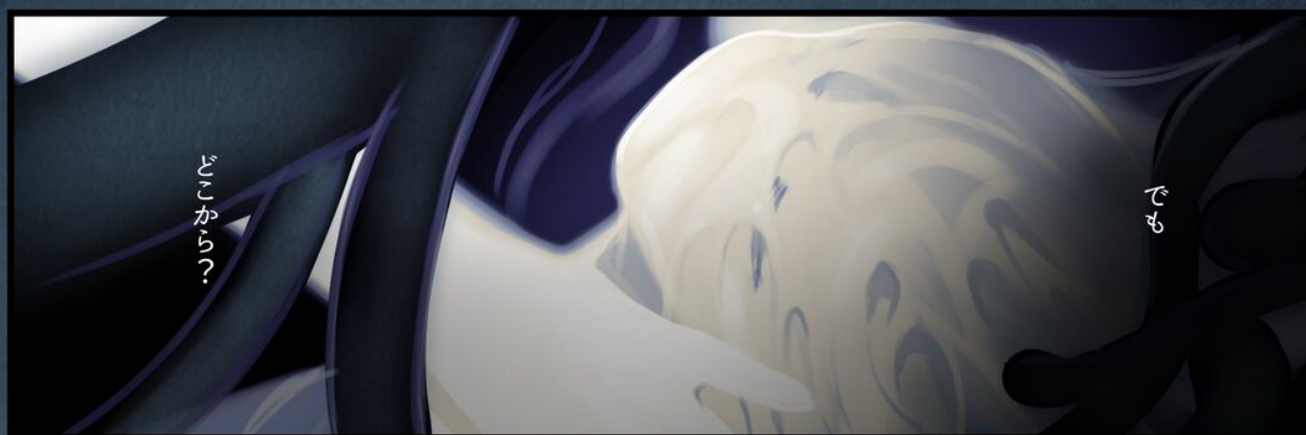
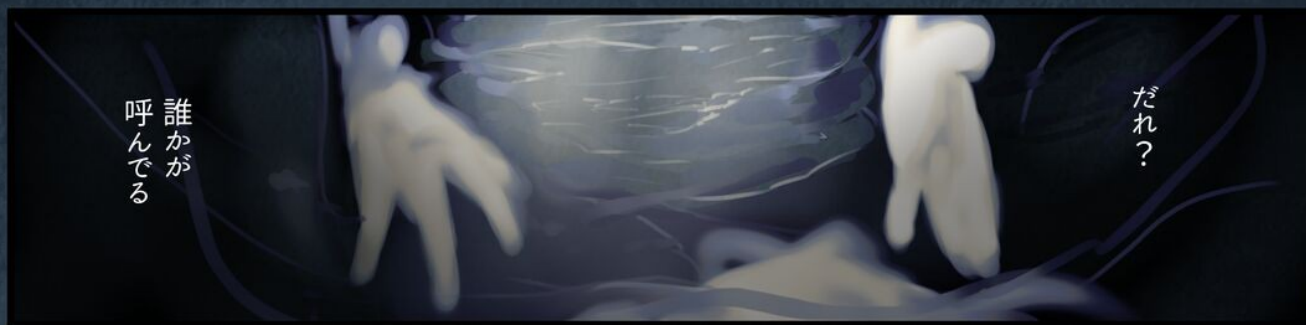
んん

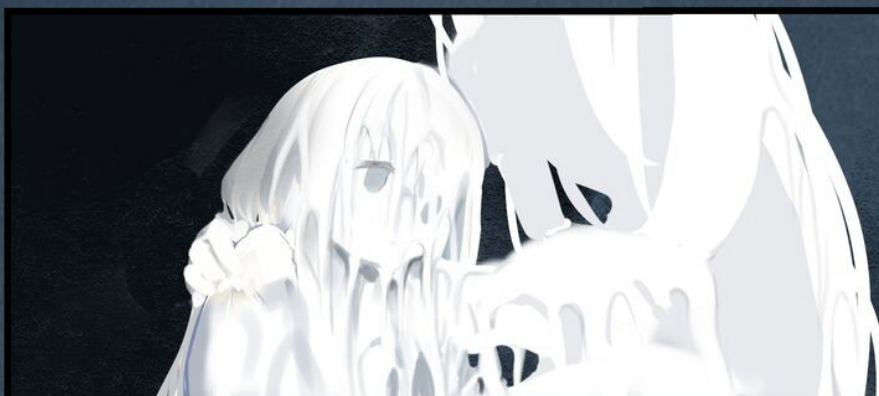
んん.....んん.....ん



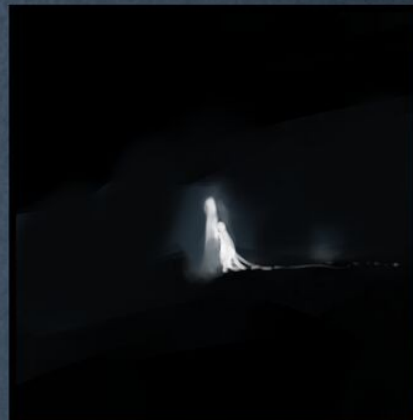








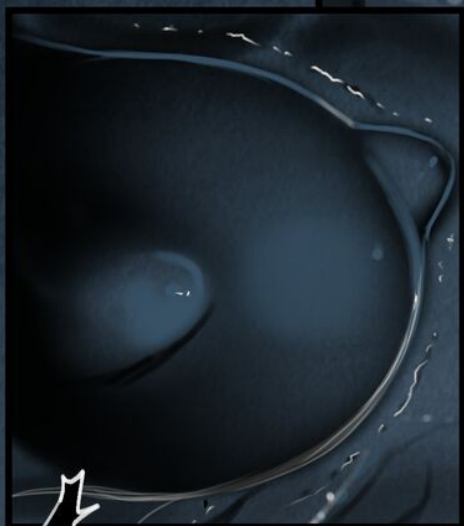
だれ？
暖かい手……

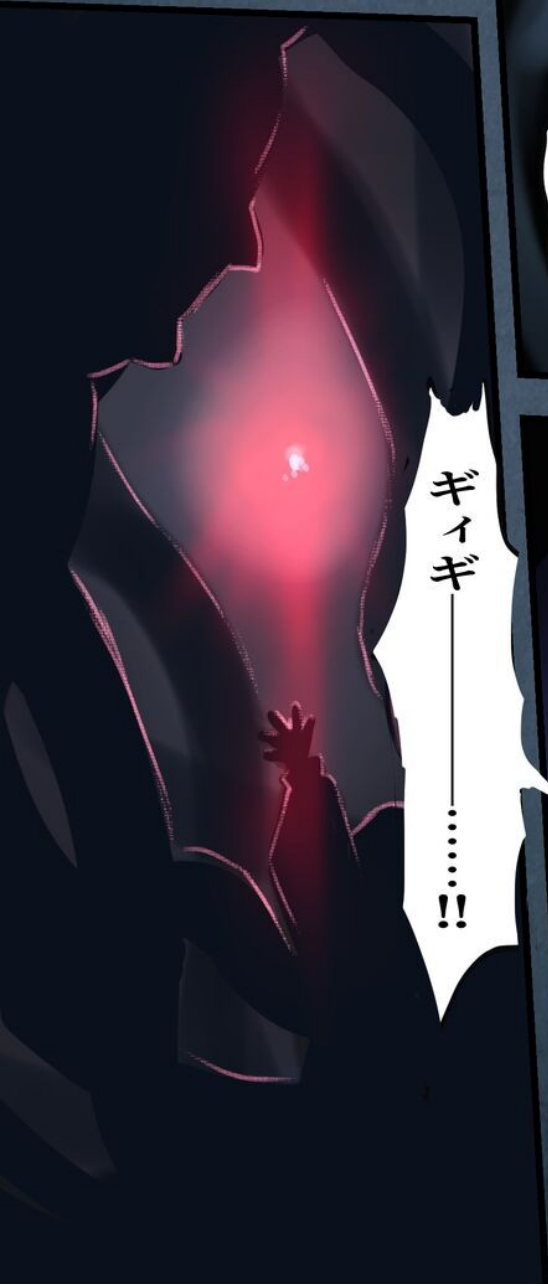
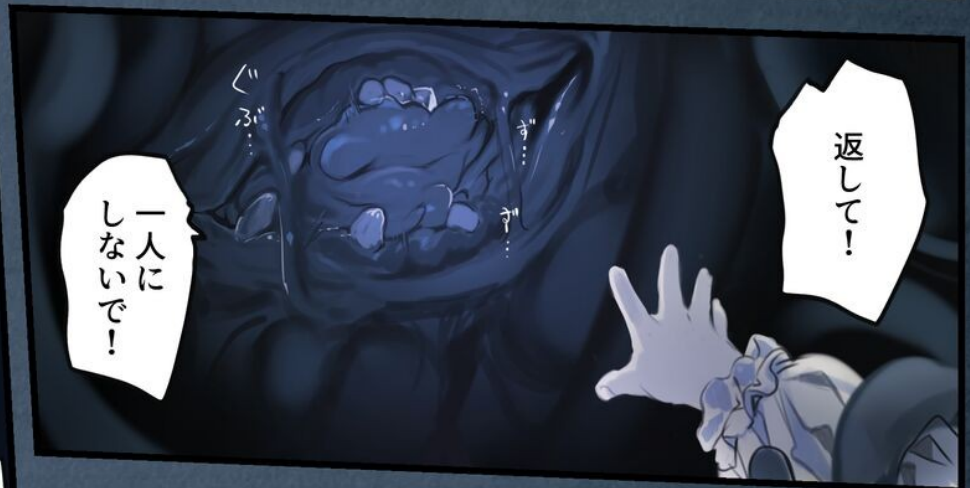


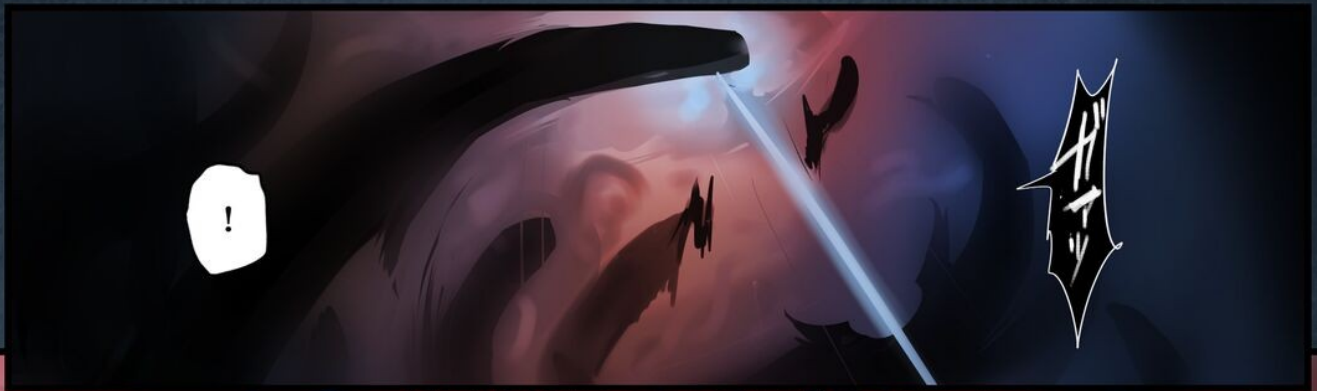






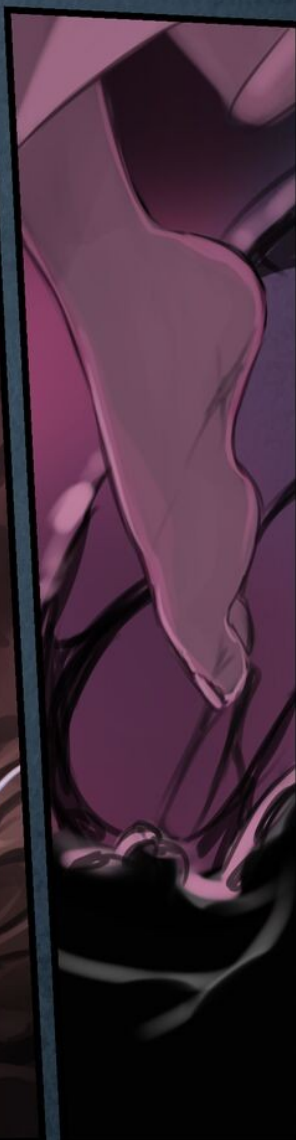






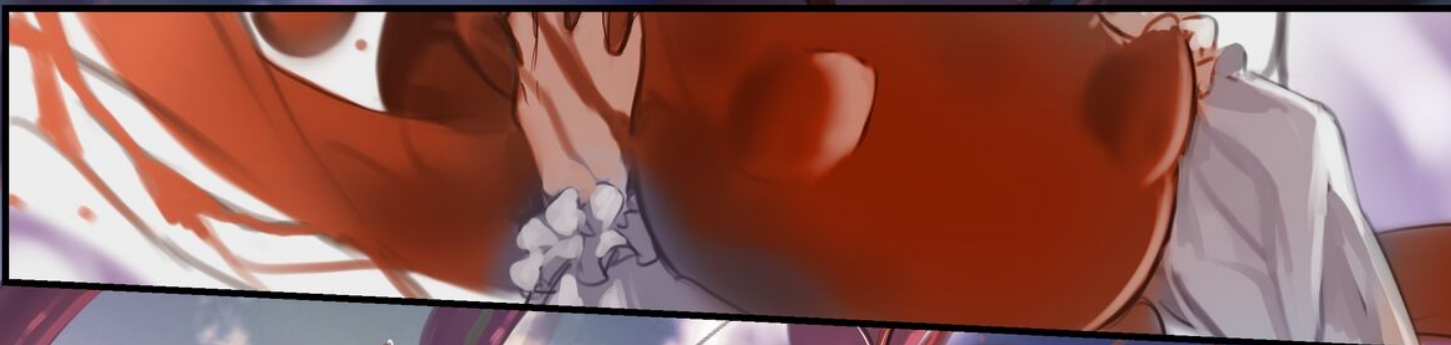


もう
独りぼつちは
いや



何があっても 絶対





いの手を離さない





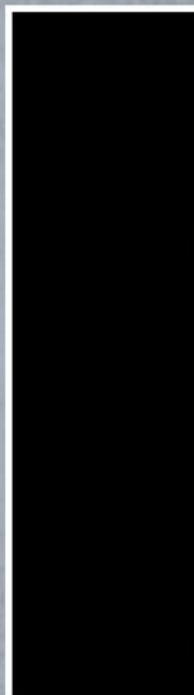


ヘイネルさんが
見つけてくれた

倒れていた
わたしを



——
あの日



ヘイネルさんは
悲しそうに
話してくれた



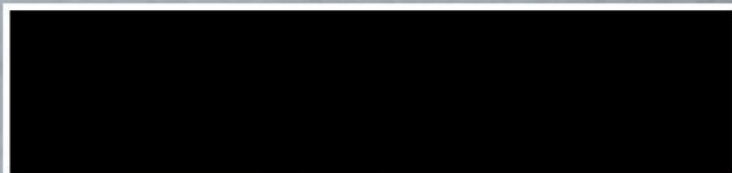
お家も
ほとんど
壊れちゃって

お父様も
見つから
なかったって



お父様は
帰って
こなかった

日が沈むのを
三度見送っても



それでも……
帰ってくるかも
しれないって





わたし
お父様のこと
何も知らなかった



お父様のことを
知ることが
出来たら

はたん
—3



加減







THE END

